

問1 イベリア半島の大部分を占めるスペインの首都を何という？

1. バレンシア 2. バルセロナ 3. マドリード 4. セビリア

問2 ヨーロッパ北西部で牧草の育成に適している、涼しく湿潤な気候を何という？

1. 温暖湿潤気候 2. 亜寒帯気候 3. 地中海性気候 4. 西岸海洋性気候

問3 乾燥に強い硬い葉を持つ木々が茂り、オリーブなどの果樹栽培が行われる気候に適した農業形態を何という？

1. 混合農業 2. 企業的穀物農業 3. 地中海式農業 4. 酪農

問4 一年のうちで最も気温が高い月と低い月の差のことを何という？

1. 気温 2. 日較差 3. 年較差 4. 降水量

問5 主にヨーロッパのどの地域で混合農業が盛んに行われている？

1. 東ヨーロッパ 2. 北ヨーロッパ 3. 西ヨーロッパ 4. 南ヨーロッパ

問6 冷涼で安定した気候を活かし、ヨーロッパ各地で盛んに行われている、牛などの家畜を飼育して乳製品を作る農業を何という？

1. 園芸農業 2. 混合農業 3. 地中海式農業 4. 酪農

問7 スペインの南部に見られる、夏に乾燥し冬に雨が降る気候帯を何という？

1. 温暖湿潤気候 2. 西岸海洋性気候 3. 亜寒帯気候 4. 地中海性気候

問8 オランダで盛んな、ガラス温室などを用いて花や野菜を育てる農業を何という？

1. 企業的穀物農業 2. 放牧 3. 施設園芸農業 4. 焼畑農業

問9 ライン川沿いに位置し、かつて石炭や鉄鉱石の集積によって発展したドイツの工業地帯を何という？

1. 北九州工業地帯 2. 中京工業地帯 3. 京浜工業地帯 4. ルール工業地帯

問10 混合農業において、家畜の飼料として栽培される作物は何か？

1. トウモロコシ 2. 牧草 3. 小麦 4. 大麦

問11 ウクライナのドニエプル川流域で工業発展を支えた、重要な天然資源を何という？

1. 鉄鉱石 2. 石炭 3. ポークサイト 4. 銅

問12 農作物の栽培と何を組み合わせた農業形態を混合農業という？

1. 野菜の栽培 2. 家畜の飼育 3. 穀物の栽培 4. 果樹の栽培

問13 偏西風とともに、ヨーロッパを温暖な気候にする働きを持つ暖流を何という？

1. 北大西洋海流 2. メキシコ湾流 3. ペルー海流 4. 日本海流

問14 ウクライナの広大な平原に広がる、肥沃で小麦などの栽培に適した土壌を何という？

1. ラトソル 2. 黒土（チェルノーゼム） 3. 黄土 4. 砂漠土

問15 ロシアの北部に見られる、寒さが厳しく樹木がほとんど育たない土地を何という？

1. タイガ 2. ステップ 3. サバナ 4. ツンドラ

答え合わせ・解説

問1	答え 3 マドリード	マドリードはスペインの政治の中心地であり、多くの政府機関や歴史的な建築物が集まっています。また、ブラド美術館をはじめとする世界的な美術館がいくつもあり、文化の拠点としても知られています。
問2	答え 4 西岸海洋性気候	西岸海洋性気候は、年間の降水量が比較的安定しており、乾燥しすぎないため牧草がよく育ちます。この環境は牛や羊の放牧や飼育に適しており、酪農や混合農業が発達する大きな要因となりました。
問3	答え 3 地中海式農業	この気候に適応した農業が地中海式農業です。夏には乾燥に強いオリーブやぶどう、柑橘類などを栽培します。また、冬の雨を利用して冬小麦を育てることもあります。
問4	答え 3 年較差	年較差は、最も暖かい月の平均気温と、最も寒い月の平均気温の差を指します。ヨーロッパの西岸海洋性気候は、海からの湿った風と温暖な海流の影響を受けるため、この年較差が小さく、一年を通じて過ごしやすなのが特徴です。
問5	答え 3 西ヨーロッパ	この地域では、歴史的に小麦などの穀物栽培と畜産を組み合わせた混合農業が発展しました。生産された牛乳やバター、チーズといった乳製品は、すぐ近くの都市部に供給されます。
問6	答え 4 酪農	この環境を活かして、牧草を育て、牛を放牧して牛乳などを生産する酪農が非常に盛んです。特にデンマークやオランダなどは酪農製品の輸出が有名です。
問7	答え 4 地中海性気候	この気候条件は植物の成長サイクルに適しており、古くからオリーブ、ブドウ、柑橘類などの栽培が盛んに行われてきました。スペインの南部だけでなく、イタリアやギリシャなど地中海沿岸の多くの地域で見られる典型的な気候区分です。
問8	答え 3 施設園芸農業	ガラス温室などの高度な設備を使用し、気温や光、水分を管理することで、季節を問わず高品質な野菜や花きを大量に生産する農業手法です。特にチューリップなどの花やトマトなどの野菜は、世界的な輸出競争力を持っています。
問9	答え 4 ルール工業地帯	ルール工業地帯は、豊富な石炭資源に恵まれていたことに加え、ライン川という水運を利用した原材料の輸送が極めて容易でした。このため、鉄鋼業を中心に大規模な工場が密集し、ドイツの経済復興を支える工業地帯となりました。
問10	答え 2 牧草	牧草は、牛や羊などの家畜にとって主要な栄養源です。混合農業を営む農家では、耕地の一部を利用して牧草を育て、それを収穫して飼料として蓄えます。カブなどの根菜類も併せて栽培されることがあります。
問11	答え 1 鉄鉱石	鉄鉱石は鉄を取り出すための原料で、ウクライナのドニエプル川流域ではこの資源が豊富に産出されました。これを利用することで、鉄鋼業を中心とした重工業が急速に成長しました。豊富な地下資源を活用できることは、工業立地において大きな利点であり、ウクライナが工業大国となる基礎を築きました。
問12	答え 2 家畜の飼育	混合農業とは、小麦や大麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を一つの農家で並行して行う形態です。家畜の排泄物を肥料として畑に還元し、逆に畑でとれた飼料を家畜に与えるという、循環型の生産システムをとっています。
問13	答え 1 北大西洋海流	この現象の主な要因は、北大西洋海流です。熱帯から運ばれてきた温かい海水をこの海流が北大西洋へと運び、そこから偏西風がその暖かな空気をヨーロッパ大陸へ運ぶためです。この二つの働きによって、ヨーロッパの冬は比較的マイルドなものとなり、雪が積もる地域であっても都市活動が制限されることは少なくなっています。
問14	答え 2 黒土（チェルノーゼム）	黒土（チェルノーゼム）は、腐植分を多く含んだ非常に肥沃な土壌で、色が黒いのが特徴です。この土壌があるおかげで、ウクライナは「ヨーロッパのパンかご」と呼ばれるほど、小麦をはじめとする穀物の生産が非常に盛んです。気候条件も適しており、大規模な農業経営に適した環境が整っています。
問15	答え 4 ツンドラ	このような寒冷環境では地表の下が凍ったまま（永久凍土）であるため、背の高い樹木が根を張ることができず、コケや地衣類などの限られた植物しか生育しません。この厳しい気候帯をツンドラと呼びます。